

# 聞思

寺報

MONSHI

第20号

2023年7月

発行



浄土真宗  
本願寺派

田野山  
西敬寺



令和5（2023）年度 『西敬寺永代経法要』 （関連記事は4頁）

## 目次

お盆法要・非戦の鐘・お盆期間中のご参拝に関して	2
OTERAZA(オテラ座) コンサートのご案内	3
西敬寺歳時記（2023年4月～6月）	4
連載 いまどきの終活の作法 ～大切なひとに負担をかけないために～	
第17回 エンディングノートのススメ	6
終/宗活公開講座のご案内	8



西敬寺  
公式サイト



西敬寺公式  
LINE



西敬寺への  
アクセス



西敬寺  
YouTube

〒381-0016 長野市南堀336 電話 026-243-5570 FAX 026-403-2400

西敬寺公式サイト <https://www.tanozan-saikyoji.jp/>

# お盆・納骨壇 合同法要

令和5年8月11日（山の日）

午前9時00～10時30分 会場：西敬寺本堂  
（受付：午前8時30分より本堂正面にて）

法話「提灯の灯り」～ご信心をいただくとは～ 住職 木賣 慈教

- ▶新盆に該当されるご遺族と、納骨壇ご利用の門信徒様に優先申し込みのご返信用葉書を同封いたしておきます。是非、故人に連なるご家族・ご親戚・ご友人をお誘い頂きお運び下さいませ。  
上記以外の門信徒の皆様で、ご参加ご希望の方におかれましては8月5日までにお電話・メール・LINE等にてお申し込み下さいますようお願い致します。
- ▶本堂正面入口に受付を設けます。消毒液を設置しますのでご利用下さい。
  - \*受付にてペットボトルのお茶と、お帰りの際にお供物のお下がりをお配り致します。
- ▶当日の服装・御布施（参加費）に関して
  - \*平服（仏様に対して節度を持った服装）をお願いします。
  - \*お念珠・門徒式章・法事勤行集（お持ちの方）はご持参下さいませ。
- ▶御布施（参加費）に関して
  - \*右のような「のし袋」（もしくは白い封筒に等）にお包み 頂き、代表者のご芳名をお書き添いの上、受付にお預け下さい。ご尊前にご奉呈申し上げます。



お盆期間中の本堂自由参拝に関して  
八月十三・十四・十六日は六時より十八時まで  
十五日のみ六時～九時と十一時～十八時となります。  
尚、お盆礼のご挨拶は、坊守が庫裡正面玄関にて対応  
させて頂きます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 非戦の鐘 タイムテーブル 8月15日（火）

8:30 受付開始  
（西敬寺本堂正面）

9:00 「全戦没者追悼法要」  
法話：住職

9:40 「平和をうたう集い」  
歌唱・伴奏  
神谷 ありこさん

11:00 「非戦の鐘」  
長命寺様境内に移動し「非戦の鐘」をお一人ずつ撞いて頂きます。撞かれた方から解散となります。

**参加費：不要**



八月十五日「全戦没者」への追悼と「非戦の誓い」を込めて今年もお寺の梵鐘を撞きましよう。  
「非戦の鐘」に合わせて「全戦没者追悼法要」並びに「平和をうたう集い」を感染症対策を講じて、西敬寺本堂にて左のタイムテーブルのように開催致します。ご参加ご希望の方は、お電話・メール・LINEにてお申し込み下さい！

# 非戦の鐘

平和を  
うたう集い

8月15日



# OTTERAZA オテラ座

泣き声大歓迎！ 0歳からのミニコンサート

2023年9月10日(日) 2部(入替制)

第1部(午前の部)11:00開演(10:30開場)~12:00終了

第2部(午後の部)14:00開演(13:30開場)~15:00終了

西敬寺本堂(長野市南堀336 \*駐車場・授乳室・多目的トイレ有)

入場料(全席自由) 子ども(小学生以下) 500円 大人 1,000円



ピアノ  
河合 愛美  
(カワイ マナミ)

長野市出身  
長野市立長野高等学校卒業  
昭和音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ演奏家コース卒業  
大学卒業後は島村楽器にピアノインストラクターとして3年間勤める。現在、長野県内を中心にソロ・アンサンブル演奏活動を行っている。長野県若手芸術家支援事「next」登録アーティスト。サンピアンYouTubeチャンネルにも出演中。



トランペット  
大友 拓哉  
(オオトモ タクヤ)

東京都出身。  
昭和音楽大学卒業  
ソロや室内楽を中心に大型イベントやギャラリー、レストラン、バーなどあらゆるシーンでの演奏、吹奏楽レコーディングなど多方面で活躍中。金管五重奏 Smoked Brass Quintetメンバー・さいたま市立常磐小学校部活動サポーター(金管バンド)・ヤマハ大人の音楽教室トランペット講師。



トランペット  
宮本 優希  
(ミヤモト ユキ)

長野県出身  
長野県立長野吉田高等学校卒業  
昭和音楽大学音楽学部器楽学科弦・管・打楽器演奏家コース卒業  
テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラを経て、首都圏を中心にフリーランスとして活動中。昭和音楽大学附属音楽教室講師、桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員。

お問い合わせ・お申し込み



TEL026-243-5570



jikyoku47@gmail.com

# 歳時記 (4月～7月)

## 住職、広島別院春季永代経へ

住職が四月六・七日と、本願寺広島別院（左写真）の『春季永代経法要』にご招請いただき、ご法話をお取次致しました。

四年前の台風十九号災害に際して西敬寺の『復興支援りんごプロジェクト』に多大なるご支援を賜った榮俊英（さかえとしひで）ご輪番はじめ、当時遙々広島から車で片道十二時間かけて何度もボランティアに長野を訪れて下さった懐かしい職員の方々にあらためて御礼を申し上げます。

また、お隣の山口県からもプロジェクトにご協力下さったご寺院の方々がお運び下さり一緒に聴聞の後、親しく復興途中状況を膝を突き合わせてお話しさせて頂きました。



広島（安芸教区）は、本願寺派寺院だけで538ヶ寺を数え全国から尊敬を込めて「安芸門徒」と呼ばれる篤信な方々によって紡がれた歴史があります。



2019年11月26日～12月10日にかけて、広島別院の職員や門徒の方々が西敬寺を拠点としてボランティアに入って下さいました。（上の写真右が別院職員と榮ご輪番）被災された畑にて収穫された「りんご」は、全国各地でのご法要のお供え（上写真左）となり、更なるご支援の輪を広げて頂きました。

## 終 宗活公開講座三十回を数える！

二〇一九年四月から始まった当講座が今年四月で第三十回を数えました。

コロナ禍で、しばらく休座を余儀なくされましたが、皆様にご理解を頂きながら感染対策を講じて継続することが出来ました。



お蔭様で回を重ねる毎に新たな参加者が増え、延べ参加者数は六百名を超えました。今後の開催日程が、8頁にございますのでご確認の上、振るってご参加下さいませ。

## 地域のご縁を結ぶ活動活発に



四月二十四日、地元の信州大学教育学部附属長野小学校の先生方が、地域の歴史を生徒さんにお伝えされる為の事前学習にお越しになり、当地にある各寺院の歴史を中心とした住職の説明を熱心にご

聴講下さいました。今後、生徒さんを引率されての学習計画をご検討されているとのこと、お寺に親しむきっかけとなつて下されば幸いです。

左の上下2枚の写真は、先生方にご紹介した明治四十四年と令和五年に同じ場所から撮影した「長命寺一山（ちようめいじいっさん）」の全景写真です。百十二年の時を経た大きな変化を感じさせます。



1911（明治44）年  
お寺の屋根は茅葺きで、周りは桑畑が広がっていました。



2023（令和5）年  
長命寺以外のお寺の屋根は周りの建物に遮られています。

# 寺 敬 西 山 野 田



方々が意欲的に取り組んで下さいました。寺報を通してご入学を決めて下さったご門徒さんもいらつしやり有難いことでした。

五月二十八日には、地域の新しい『イーバシヨ（居場所・良い場所）』作りの一環として「お茶のみサロン」が、福祉推進員の方々のご尽力のもと西敬寺で開催されました。



冒頭住職が「西敬寺が南堀に移転してきて三百二十三年、ご本尊の阿弥陀如来様は、ここにご参集の誰よりも長く地元に御坐す。」と、ご紹介すると感嘆と共に皆様大きく頷いて下さいました。続いてアルパ奏者の小林ユキ子さん（右写真中央）が特別ゲストとして、素敵な音色をお聞かせ下さいました。

五月九・十日、長野シニア大学（上写真）にて住職が担当講義を行いました。

過去三年間、感染対策で行えなかったグループワークに学生の

小林さんは有名な俳諧師であり、また篤信な真宗門徒でいらつしやった小林一茶さんの七代後のご子孫とのことで、帰り際に「阿弥陀様のご本堂をお借りしてとても光栄でした。」とお慶びをお伝え下さいました。続いて六月十七日に、長野市社会福祉協議会の令和五年度「ボランティア活動振興事業助成」ながのボランティア市民活動支援ネットワークの「ささえあい応援金」の公開審査会が開催され、七団体から熱いプレゼンテーションがありました。

住職が支援ネットの理事として審査員を仰せつかり、皆様の真剣な活動内容に耳を傾けさせて頂きました。助成金応援金と言う形は勿論お寺としても人的交流を基として支援したいと思えます。



五月二十一日、本年度の『西敬寺永代経法要』を有缘の方々とご一緒に厳修致しました。

厳肅なお勤めに続き、ご講師の栗山宣雄先生のご懇切なるお取次を賜ると共に今後の支えとなるお言葉の数々を重ねて賜りました。あらためて西敬寺は、聞法・法要儀式はもとより、真宗の独自性たる『一緒性』を基盤に運営を行ってまいりたいと思えます。



ご出勤下さった僧侶方も後方でご一緒に「ご聴聞」を喜ばれました。

## 永代経法要厳修

※一緒性の定義

①真宗文化の視点

僧侶と門信徒が「一緒にお聴聞する」「一緒にお勤めする」「一緒にお荘厳する」など、真宗文化の色濃い特長を示す。

②時代潮流の視点

従来の地域共同体が崩れ、社会の個人化が進む一方で、つながりを求める声も増しており、その声に応える点においても真宗の特長を端的に伝えやすい。

③初縁の視点

初めて真宗に触れる方には、真宗の特徴として意味を理解しやすい。

いまだきの終活の作法～大切なひとに負担をかけないために～

## 第17回

# エンディングノートのススメ

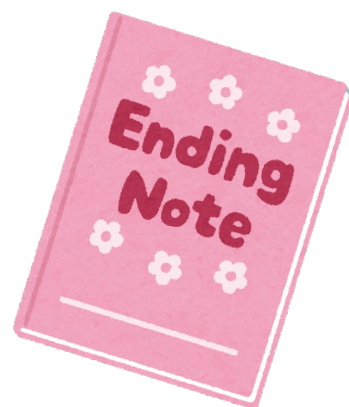
少し前に「100日後に死ぬワニ」という漫画が話題になりました。ちょっとドキッとするようなタイトルとほのぼのした内容のギャップが絶妙でした。私たちも「●日後に死ぬ」ことは確かです。しかしそれがいつなのかは誰にもわかりません。死を考えるのは縁起でもないと思ってみぬふりをしがちですが「準備」のあるなしでその後の手続きに大きな差が生まれます。まずは手軽に始められるエンディングノートを活用して準備をしておきたいものです。

## 終活は元気なうちにしかできない

子供世代からの場合、親の健康状態が悪化した、判断能力が低下してきた、また、ご本人としても自分のことが自分でできなくなってきた、最近いろいろ億劫になってきたという状況は起こりえます。そのときになってはじめて「いよいよ終活しなければ」と思う方が大半ですが実際問題こうした状況になってしまってからでは負担が大きいことです。

あれこれ調べたり、手続きしたり、万が一に備えることは実際に行動することも多いので、衰えてからでは想像以上に時間がかかったり、ともすれば整わないまま亡くなってしまうこともあり得ます。

これでは残された側は故人の意思がわからず、またご自身の希望もかなえられないというどちらにとっても不幸な状況になってしまいます。終活は気力体力が十分なうちに手を付けることが絶対条件です。終活の代表格は遺言ですが、遺言は何かとハードルが高そうに感じる方はまずはエンディングノートを開くことをお勧めします。



## ノートを見れば答えがあるという安心感

遺言は書き方やその後の手続きに細かな法的ルールがあります。それに比べてエンディングノートは書店での購入や自治体や行政機関による無料配布など手に入れやすいのが良い点です。そしてなんと言っても一番の効用は、とにかくノートを見れば答えがあるという安心感が持てることに尽きます。また、遺言では死後のことしか決められませんが、エンディングノートは亡くなる前のこと、医療や介護のことなどを書いておけるのも大きなメリットです。

親や自分に万が一のこと（要介護、治療・延命措置、死亡等）が起こった場合、準備したノートを見ればそこに答えがあるという安心感は絶大です。子供から親に向かって「延命治療は希望する？」「どんな葬式がいい？」とはなかなか聞きにくいものです。ですからこうしたことがノートに書かれているということを知っているだけでも心持ちが変わってきます。

そうはいっても具体的にどこからどう手を付けたら（書いたら）いいの？」と困ってしまうものもわかります。エンディングノートには生い立ちや交友関係から財産や死後の供養の希望など様々な

項目が用意されています。ですが何も1ページ目からすべての項目を埋めていく必要はありません。書けるところから書けばいいのです。大雑把でも、ぼんやりでも構いません。

## エンディングノートに書いておきたいこと

前述しましたがエンディングノートには記入項目がたくさんあります。先ずは書ける（書きやすい）ところから構いませんので、記入してみる事が重要です。考えや気持ちが変わったら修正しやすい点もエンディングノートのメリットです。

以下に書く際の切り口をまとめますので参考にしてください。

### 1) 病気・介護・住まいから考える

- ・病名を知りたいか（告知）
- ・どんな治療を受けたいか  
※特に末期医療や延命措置については別途公正証書での宣言書をお勧めします。
- ・どんな介護を受けたいか
- ・判断能力や身体能力が衰えたときにどこで過ごしたいか

### 2) 死後の希望もあればなおよし

- ・資産のこと（金融機関や不動産の情報・継承や分割方法・支払いの手当）  
※遺産について必ず実現してほしいことは遺言にしましょう
- ・死後の手続きのこと（SNSのアカウント・IDやパスワード）
- ・葬儀や供養のこと（事前契約・規模・参列者等）

生前に葬儀社と契約している、契約はしていないが希望する規模や方法の希望がある、参列者に関して知らせておきたいことなど

※特に樹木葬や散骨など比較的新しい方法を希望される場合はしっかり記載しておきましょう。



これらのことから考えてみると、今のご自身の状況、今後の希望が改めて整理され、豊かな時間が生まれます。そしてだいたい書けたら家族やパートナーにノートの存在と保管場所を伝え情報を共有しておきましょう。

ここまでお読みいただきありがとうございました。

エンディングノートを準備するにあたっての良い点や書くべきこと解説してきましたが、注意すべきは「エンディングノートに書いたからといって必ずしも実現されるとは限らない」ということです。エンディングノートは気軽に記入できて修正も簡単ですが、あくまでも本人の希望やお願いであり、法的な拘束力はないためです。家族関係や希望内容に照らし合わせて遺言とエンディングノートを使い分ければ完璧です。（8月11日の第34回 終/宗活公開講座公開講座にてエンディングノートに関するワークショップを行います。定員制となりますので、ご興味のある方は事前にご住職にお申し込み下さい。）



事務所サイト

<https://www.office-angei.com/>

—ご意見・ご要望・ご質問などお気軽にお寄せ願います—

伊藤 安芸:INSIDEOUT行政書士事務所代表

(行政書士・家族信託専門士・葬祭カウンセラー)

TEL026-219-6373 メールy-itoh@office-angei.com

# 西敬寺 終/宗活 公開講座




毎月 第2日曜日 13:30開始 参加費不要

終/宗活とは、あなたの拠り所となるお寺を通じて

人生の終焉を考え今を大切に自分を見つめ直す活動です

日程	講演・法話テーマ	タイムテーブル (受付開始本堂正面 入口にて13:00より)
第34回 8月11日 (山の日)	<b>特別プログラム</b> 「実際にエンディングノートに記入してみましょう」 長野地方法務局・長野県司法書士会編纂の『エンディングノート』をご用意(参加者の皆様にプレゼント!)して実際に記入体験を行います。(ワークショップ形式の為、事前申し込みをお願いします。定員になり次第締め切らせて頂きます。) <b>*8月11日(山の日)へ変更となりましたのでご注意ください。</b>	13:30 仏事作法体験 13:50 法話 14:10 休憩 14:20 講演 14:50 質問タイム 15:00 終了
9月10日	コンサートになります(詳しくは今号3ページをご覧ください。)	*終了後17:00まで、個別相談(無料)を行なっています。お気軽にお問い合わせ下さい。(別日でも承ります。)
第35回 10月8日	講演「遺言はやっぱり法務局保管制度が最強」 法話「私の宗教」～宗教って何だ?!～	
第36回 11月12日	講演「家族信託を検討して見ませんか？」 法話「信じれば救われる？」	

会所お近くの有縁の皆様、ご縁整われましたらご一緒下さい(住職の布教予定)

日程	会所(敬称略)	歴史・周辺情報など	QRコード
7月 26・27日	本願寺井波別院『特別永代経法要』 住所:南砺市井波2955	1905(明治38)年に創建されました。お近くには本願寺第5代綽如上人開基の壮大な『瑞泉寺』(大谷派)があります。	
9月 4～7日	本願寺富山別院『常例布教』 住所:富山市総曲輪2-7-12	富山駅より徒歩15分の好立地にあります。本堂は度重なる火災や戦禍によって焼失しましたが、再建が繰り返されました。現本堂は1967(昭和42)年の再建です。	
9月 20～22日	本願寺津村別院『秋季彼岸会法要』 住所:大阪府中央区本町4-1-3	有名な『御堂筋』に面しています。その名前の由来となったご寺院で通称『北御堂(きたみどう)』と呼ばれています。	
11月 25・26日	東朝山 大光寺『報恩講法要』 住所:吹田市岸部中5-10-10	4年前の西敬寺新本堂落慶法要際し、記念布教を賜った清岡隆文先生が前住職をお務めのご寺院です。	